

(件名) タイ人の旅行事情について**1 訪日タイ人旅行者の特徴**

2023年の訪日タイ人旅行者数約80万人に対し、訪日タイ人旅行者は約100万人で大勢のタイ人が日本を訪れています。日本は人気な旅行先上位に位置しており、後述の要因が考えられます。タイ人の多くはアニメを始めとした日本文化に理解があり、食文化についてもタイ国内全76県全てに日本食レストランがあるなど、日本を身近な国と認識しているためです。

滞在先での過ごし方の傾向として、物見遊山型でなく体験型の観光に関心を持ち、中でも訪日旅行のリピーターが多い富裕層は新しい体験を求めています。ウィンタースポーツや自然体験ツアーを始めとして、道東地域を訪れた際は「流水クルーズ船」にとどまらず「流水ウォーク」まで体験するようです。

タイ国内旅行イベント様子
(筆者撮影)**2 日本国内で人気な旅行先について**

北海道外では長野県の「上高地」、北海道内では「富良野」が特に人気の高い旅行先です。両地域は「タイでは見られない景色を見ることができる」「四季を感じるができる」といった共通点を持っています。

上高地は、山に残った雪、一般的な日本の橋、綺麗な川が一望できる景勝地です。山、川、橋単体であればタイ国内にも名所はありますが、全て揃った場所は無いため好まれるようです。富良野は、夏はラベンダー、冬は雪+ウィンタースポーツが訪問目的のようです。タイ人も花を好み、中でもラベンダー、芝桜、紅葉等のタイでは咲かない品種が好まれます。

上高地の風景
(筆者撮影)**3 所感**

経済発展やLCCの就航数増加等に伴い、タイ人にも外国旅行が定着しつつあります。そして旅行先は近郊のASEAN域内にとどまらず、日本も人気な候補先として挙がるようです。実際に、当事務所のローカルスタッフも今月旭川を訪れており、食及び冷涼な気候に満足な様子でした。

タイ人は、自身の旅行体験を「SNS」上でシェアする割合が全体の8割と高く、旅行先の情報収集でも「SNS」を活用しています。友人への自慢等、投稿内容に「もの珍しさ」を重視する傾向にあり「タイで見られない景色・タイには無い体験」があるかどうか誘客の重要な要素と感じます。

タイ国内スワンナプーム空港
国際線出発ロビー様子
(筆者撮影)